

キャラクター名

プレイヤー名

剃刀（ジレット）

メインクラス	シーフ	Lv.1:		レベル	8
サポートクラス	サイバーオーガン	Lv.1:	サイバーオーガン	性別	♀
称号クラス				年齢	16
種族	グライアイ			境遇	天啓
出自 (効果)	盗賊			目標	名誉

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運	
基本値	15	20	20	9	9	9	6	
ボーナス	5	6	6	3	3	3	2	
クラス修正	1	1	2	0	2	0	0	
他修正					1			
能力値	6	7	8	3	6	3	2	

HP	91
MP	64
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	S3ゴーストブレイド（弱体：放心、スタン、威圧）	至近		5					
左手	S1精霊のナイフ（武烈）	至近	0	9	0	0	0	0	0
頭部									
胴部	スニーキングスーツ					8			
補助	俊足のブーツ				1	3		1	
装身具	ロストデビルズアイ							4	
能力値			7	0	8	0	3	14	11
スキル			2			2	2	2	
その他									
総計(右)			9	5	9	13	5	21	11
総計(左)			9	9					
総計(両)			9	14					
ダイス数			3 d	3 d	4 d				m

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数	所持品	
トラップ探知	6			6	+ 3 d	ナイフ	
トラップ解除	7			7	+ 3 d	ナイフ	
危険感知	6			6	+ 3 d	ウェポンマウント	
エネミー識別	3			3	+ 2 d	冒険者セット	
アイテム鑑定	3			3	+ 2 d	バックパック	
魔術判定					+ d	ポーションホルダー	
呪歌判定					+ d	にく	
錬金術判定					+ d	ハイMPポーション	
						ハイHPポーション	
						にく	
						にく	

現在重量：11

最大重量：20

所持金：108

預金・借金：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
グライアイ：インビジブルハンド	★						双、短剣	
効果：短剣を二つ装備品と別に持つてるあいだダメ+「1d」								
ワイドアタック	1	4	メジャー	武器	範囲(選択)	命中		
効果：武器攻撃を行う。2体以上を対象に取ったらダメージ+[SL×2]								
アンビデクスタリティ	1		パッシブ					
効果：両手の短剣、鞭を合計								
インプラントウェポン	1		パッシブ					
効果：内蔵武器装備								
オーバーリミット	5		セット					
効果：HPを5消費。命中回避+Lv								
アームズマスタリー：短剣	1		パッシブ					
効果：								
オーバーアサルト	1		メジャー	武器	単体	命中		
効果：オーバーリミット時のみ、HP5使って武器攻撃。ダメージ+「Lv+1d」								
ストライクブースト	3	3	ダメ口前					
効果：白兵攻撃ダメ+「SLd」								
ヒートドライブ	3	5	マイナー					
効果：ダメージ増加。+「SL×2」火属性魔法ダメージにする								
バタフライダンス	1		パッシブ					
効果：回避+1d								
インタラプト	1							
効果：								
ドッジムーブ	1	2	参照		自信	自動		
効果：ドッジと同時に使って回避+「Lv+2」								
カッティングエッジ	2	3	ムーブ			自動	鞭、短剣	
効果：ダメージ+「SI×3」								
デュアルフェイス：ストレッチアーム	1		パッシブ					
効果：白兵攻撃を5m遠くに。								
メタライズ：ヘッド	1		パッシブ					
効果：物防魔防+2 命中「Lv+1」								

全てのグライアイがグライア谷に居るわけではない。多くのグライアイが、異形を隠して人々の中で暮らしている。そうしたグライアイの多くは、その素性を隠しぬいて一生を終える。だがしかし…ジレット（スラングで剃刀を意味する）の通り名で通っている女性の場合は、そうではなかった。

彼女は葉草売りを営むグライアイの元に生まれ、方々を旅しながら遺跡の傍で冒険者たちに葉草を売って商いをするのについて行っていた。

しかしとある遺跡で武勲をたてるために遺跡に訪れた貴族に一目惚れされてしまう。

その事で素性を調べられ、グライアイだと発覚したときにその貴族の周辺にいたものが選んだのは…”フォモールが領主を呪いで騙し近づいた”ということにする、ということだった。

領主は激昂し嘆き悲しみ、だましたフォモールを許さないと宣言。両親は直ちに死刑となり、「死よりも苦しい目に合うべし」という宣告の下、無茶な錬金術実験によって錬金術の装置を体に埋め込まれてしまう。

…そのままだったら、拷問と変わらぬ”実験”で死んでいただろう。

だがしかし、領主の相談役をしていた神官が、彼女がダグデモアの名に誓いを立てていることに気付き、事態は一変。邪神の眷属なら、ダグデモアに誓いなど建てられるわけがない。領主が彼女を牢から出したころには、無茶な実験で記憶も人体も無茶苦茶になったころだった。

せめてもの慰め、という名の自己満足と厄介払いで支度金を受け取り、旅に出た彼女は今はグランフェルデンの宿を拠点とし、冒険者として過ごしている。

性格は陰気で皮肉屋、だがしかしダグデモアに建てた「顔を隠さない」という誓いのままに、気が強く意気軒高なため、パツと見の印章ほど湿った空気を周りに与えない。

”剃刀”（ジレット）の異名は、その見えざる手と腕に内蔵された刃を含めた、四本のナイフを自在に操る手業に由来する。

錬金術実験の後遺症で実験前の記憶はモザイク状になっており、名前も思い出せないで誰かがつけたとおり名をそのまま使っているのだ。

剃刀（ジレット）

所持品

[illegible]